



南関町議会議長
橋永芳政

コロナ禍を乗り越え、 行政と一丸となって新たな 南関町の創造へ

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心から慶び申し上げます。

また、町政はもとより議会運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、一年を振り返りますとコロナ禍により「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が発令される中、ようやく期待のワクチン接種が始まりました。最初は不安もありましたが、国を挙げての取り組みで現在のところ効果が出ているように思われます。

また、献身的な取り組みをいただいている医療関係者の皆様には、改めて感謝申し上げます。そのような中で延期になってい

医師会の「理解と」協力により、希望される全ての方の接種は完了していますが、若年層の接種率がやや低いような状況であります。引き続きワクチン接種を推進するとともに、3回目の接種にも迅速な対応ができるよう準備して参ります。

また、今年の冬はインフルエンザの流行も危惧されている中で、町民の皆様方には、新型コロナウイルス感染症と併せて、できる限りの対策・支援を行って参りますので、引き続き新しい生活様式等を守っていただき、経済活動・各種活動の実施と感染予防を両立していただきたいと思います。

また昨年は、梅雨明けの8月11日から18日までの8日間で総雨量911ミリ、12日から13日の24時間雨量が328ミリと8月としては記録的なものとなり、前年に続き甚大な災害が発生し、激甚災害にも指定されることとなりました。

ただし、令和2年の7月豪雨との違いは、短時間に集中した豪雨でなかったために、河川の増水等が急激ではなかったと思われ、被害件数も少ない件数で治まったものと思われま

しかし、集中豪雨や災害は毎年発生するような状況となってきておりますので、町民の皆様が安全・安心で心豊かに暮らしていただけるように、現在事業を進めている防災行政無線のデジタル化、災害ハザードマップの作成

た「東京オリンピック・パラリンピック」が無事に開催されたことは、大変うれしいことでありました。まして、町出身の浦田理恵さんの活躍は、町の誇りであり、ゴルフで活躍された大里桃子選手もコロナ禍で沈んだ私達の気持ちをも明るくしてくれました。

一方、昨年はまたしても豪雨の被害に見舞われた年でもありました。

梅雨明け後の8月に、あのような長雨になるとは思いもよらないことでしたが、一日も早い復旧を願うものであります。

昨年、「これからは、「災害はいつどこで発生するか分からない」のではなく、「毎年何かの災害が起きる」という考えでの準備が必要となる」と申し上げたところでありましたが、12月に発生しました「鳥インフルエンザ」に対しましては、5年前の教訓を生かし、迅速な対応を取っていただいた県・町に深く感謝するところでありました。

また、昨年は菅内閣から岸田内閣へと移り、衆議院議員選挙では、引き続き自民・公明の連立政権となりました。国では「徳総活躍社会の実現に向けた地方創生の動きが続けられておりますが、コロナ禍で人や経済の動きが止まっている現在、時代の行く先がますます不透明感を増してお

など、これまで以上の危機管理体制を執っていきたいと思います。

さて、南関町の行政・防災の拠点となる役場新庁舎と有明消防南関分署を含めた防災関連施設が年末までに完成し、1月4日(火)開庁、15日(土)に落成式を迎えることとなりました。

今後は町民の皆様方の生活を守る施設、よりどころとなる施設として気軽に親しむを持ってお集まりいただけるように職員一同お待ちいたしております。

また、南関版コンパクトシティ構想の大きな柱は完成しましたが、うから館や元役場庁舎、公民館、保健センター等の活用については、町民の皆様が喜んで利用いただける施設にできるように引き続き検討して参ります。

町の大きな課題でもある定住対策や少子高齢化対策については、国勢調査での人口減少もあり、更に力を入れていかなければならない問題となっております。令和3年度からスタートした第3期目となる「住んでよかったプロジェクト推進事業」を中心に関係課との事業調整を図り、より住みやすい町を目指します。

また本年は、質の高い行政サービスの提供と持続可能な地域社会の形成を目指すことを目的とした「第六次南関町行政改革大綱」・「町民の利便性の向上」地域活性化、行政事務の効率化、地

ります。このような中で本県へのTSMC(台湾積体回路製造)の進出は、国を挙げての取り組みであり、本町においても期待を寄せるところであります。

ここで、さらに町政に目を向けますと本町の最重要課題であった南関高校跡地への新庁舎が完成しました。

議会においても、この件に関してはいろいろと慎重審議を行ったところでありましたが、いよいよ本年には、新庁舎での業務が始まります。議会としましても最新の設備を備えた議場や会議室も広くなりますので、身の引き締まる思いであります。

今後は「うから館」「旧役場跡地」の利用、これらを含めたうえで南関版コンパクトシティ構想、さらには、防災行政無線デジタル化の完了、旧白秋生家整備等どれもが限られた財政の中で、活気ある町づくりを努めていかなければなりません。

しかし、昨年12月に策定された「第六次南関町行政改革大綱」や現在進められている「南関町地域未来構想」を基に取り組んでいただけに期待しております。

いよいよ私達、17期議員は2月25日までの任期となりました。この間、いろいろな事があり、私自身議長としての重責に悩んだこともありましたが、17期議員と

域の安全・安心のための「南関町デジタル化推進計画」を策定し、年度目標を設定して着実に事業を進めて参ります。

更には、南関町では初めてとなる「南関町地域未来構想・基本計画」を策定し、町民の皆様が直接参画していただき、各校区等での活かしたい魅力や解消したい問題を協議し、活動に取り組みすだけでなく、事業を進めて行きますので、年齢に関係なく多くの方のご参加をお待ちしております。

本年は、新庁舎のオープンを機に、町民の皆様一人ひとりが輝ける町として、南関町が大きく前に進み出す年にしなければならぬと考えています。

私自身も、防災対策や定住対策・少子高齢化対策、働く場所の確保など、トップセールスも含めて全力で各事業を進めて参りますので、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、南関町の更なる発展と今年が皆様にとって良い年になることを、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

一緒にになって、執行部と切磋琢磨しながら、町づくりの主役は町民の皆様であることを第一に、町政のチヨク機関として、精一杯努力してまいります。

町長・町議会議員の選挙の年でもあり、議員のメンバーも一新されることですが、これから町民の皆様から「期待される」議会であり続けたいと思っております。

終わりになりますが、コロナ禍が終息し、南関町の更なる発展と、町民の皆様のご健勝とご活躍を、ご祈念申し上げます。

- 南関町議会
- 副議長 境田 敏高
- 議長 西田 恵介
- 北原浩一郎
- 中村 正雄
- 立山比呂志
- 杉村 博明
- 井下 忠俊
- 立山 秀喜
- 打越 潤一
- 鶴地 仁

コロナや災害にも負けない、 一人ひとりが輝ける町に!



南関町長
佐藤安彦

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

昨年は、前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症や8月の豪雨災害などと、町民の皆様方の生活にも大きな影響が出た、悩ましい年であったのではないかと思います。

新型コロナウイルス感染症については、熊本県にもまん延防止等重点措置が発令される中で、私たちが生活する有明地域でも幾つものクラスターが発生し、日常生活にも様々な制限がかかり、学校や職場、飲食店やホテルなど、全ての方に「苦労をお掛けした」と思っております。

このような中で、ワクチン接種は町内外の医療機関や玉名郡市

医師会の「理解と」協力により、希望される全ての方の接種は完了していますが、若年層の接種率がやや低いような状況であります。引き続きワクチン接種を推進するとともに、3回目の接種にも迅速な対応ができるよう準備して参ります。

また、今年の冬はインフルエンザの流行も危惧されている中で、町民の皆様方には、新型コロナウイルス感染症と併せて、できる限りの対策・支援を行って参りますので、引き続き新しい生活様式等を守っていただき、経済活動・各種活動の実施と感染予防を両立していただきたいと思います。

また昨年は、梅雨明けの8月11日から18日までの8日間で総雨量911ミリ、12日から13日の24時間雨量が328ミリと8月としては記録的なものとなり、前年に続き甚大な災害が発生し、激甚災害にも指定されることとなりました。

ただし、令和2年の7月豪雨との違いは、短時間に集中した豪雨でなかったために、河川の増水等が急激ではなかったと思われ、被害件数も少ない件数で治まったものと思われま

しかし、集中豪雨や災害は毎年発生するような状況となってきておりますので、町民の皆様が安全・安心で心豊かに暮らしていただけるように、現在事業を進めている防災行政無線のデジタル化、災害ハザードマップの作成

ります。このような中で本県へのTSMC(台湾積体回路製造)の進出は、国を挙げての取り組みであり、本町においても期待を寄せるところであります。

ここで、さらに町政に目を向けますと本町の最重要課題であった南関高校跡地への新庁舎が完成しました。

議会においても、この件に関してはいろいろと慎重審議を行ったところでありましたが、いよいよ本年には、新庁舎での業務が始まります。議会としましても最新の設備を備えた議場や会議室も広くなりますので、身の引き締まる思いであります。

今後は「うから館」「旧役場跡地」の利用、これらを含めたうえで南関版コンパクトシティ構想、さらには、防災行政無線デジタル化の完了、旧白秋生家整備等どれもが限られた財政の中で、活気ある町づくりを努めていかなければなりません。

しかし、昨年12月に策定された「第六次南関町行政改革大綱」や現在進められている「南関町地域未来構想」を基に取り組んでいただけに期待しております。

いよいよ私達、17期議員は2月25日までの任期となりました。この間、いろいろな事があり、私自身議長としての重責に悩んだこともありましたが、17期議員と

域の安全・安心のための「南関町デジタル化推進計画」を策定し、年度目標を設定して着実に事業を進めて参ります。

更には、南関町では初めてとなる「南関町地域未来構想・基本計画」を策定し、町民の皆様が直接参画していただき、各校区等での活かしたい魅力や解消したい問題を協議し、活動に取り組みすだけでなく、事業を進めて行きますので、年齢に関係なく多くの方のご参加をお待ちしております。

本年は、新庁舎のオープンを機に、町民の皆様一人ひとりが輝ける町として、南関町が大きく前に進み出す年にしなければならぬと考えています。

私自身も、防災対策や定住対策・少子高齢化対策、働く場所の確保など、トップセールスも含めて全力で各事業を進めて参りますので、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、南関町の更なる発展と今年が皆様にとって良い年になることを、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

- 副町長 大木 義隆
- 教育長 谷口慶志郎